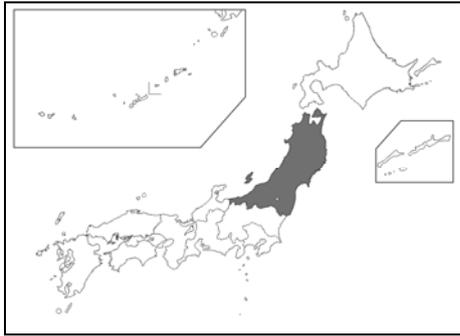


(2) 東北



東北地域では、景気は緩やかに回復しつつある。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

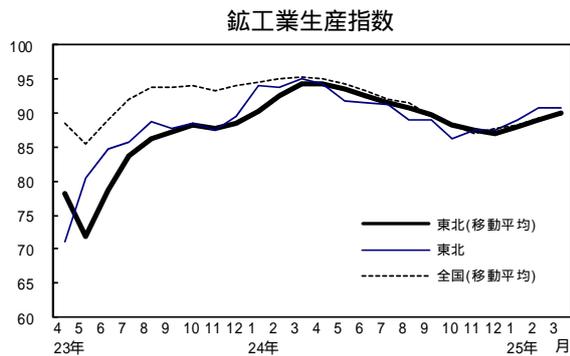
前回調査からの主要変更点

	前回(平成25年2月)	今回(平成25年5月)	
景況判断	持ち直し	<u>緩やかに回復しつつある</u>	
鉱工業生産	下げ止まっている	<u>緩やかに持ち直し</u>	
雇用情勢	改善の動き	改善	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。

1～3月期には、電子部品・デバイスは、スマートフォンやデジタルカメラ向けのモス型半導体集積回路(その他 CCD)が好調だったこと等から増加した。食料品・たばこは、水産加工食品が増加に寄与したこと等から増加した。一般機械は、海外向け半導体製造装置等が好調だったこと等から増加した。情報通信機械は、ノート型パソコンが増加に寄与したこと等から増加した。化学は、医薬品が増加に寄与したこと等から増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10~12 月期	1~3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	17.9	0.8	0.8	2.9	2.9	3.1
食料品・たばこ	11.8	2.6	2.4	1.4	1.1	1.3
一般機械	10.1	16.5	17.6	3.7	2.8	18.4
情報通信機械	9.6	5.7	4.4	11.4	14.2	4.4
化学	7.0	1.3	3.6	3.1	3.2	0.6
鉱工業	100.0	3.1	3.4	1.6	1.9	0.0

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

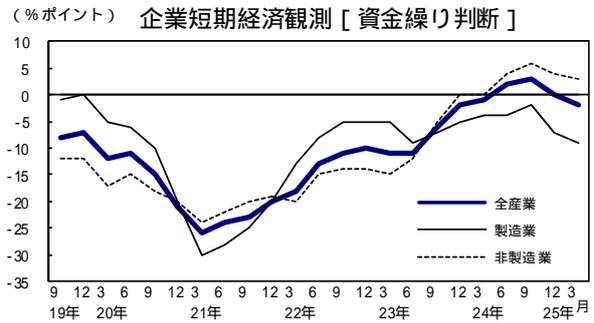
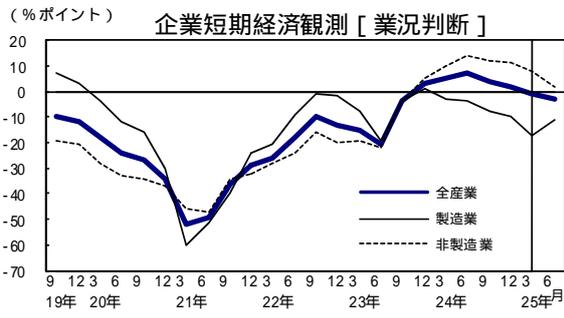
2. 1～3月期、3月は速報値。

(備考) 1. 17年=100、季節調整値。東北の最新月は速報値。

2. 全国及び東北の大線は後方3か月移動平均。

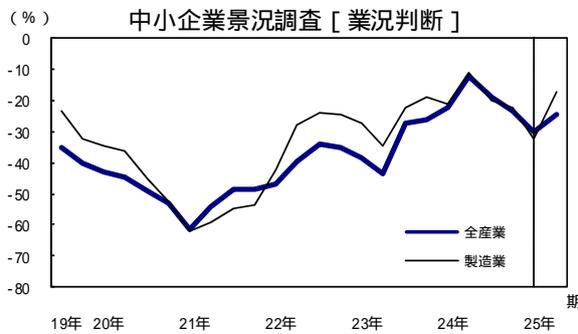
(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超に、資金繰り判断は「苦しい」超にそれぞれ転じている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年6月は予測。

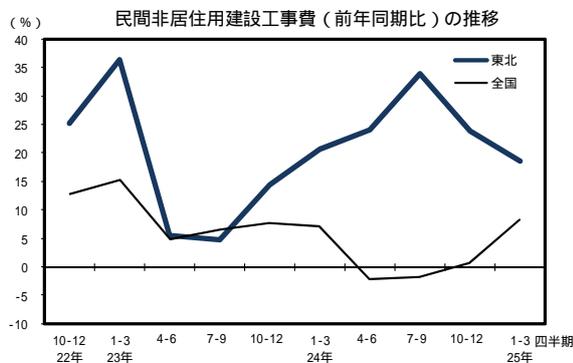
(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月)[企業動向関連(現状)]
「官庁工事の出件数が増え、土木工事の受注量が増加している(建設業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は大幅に増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資(3月調査)]
(前年度比、%)

	24年度実績見込み	25年度計画
全産業	14.8 (5.0)	12.0
製造業	8.9 (11.4)	11.4
非製造業	23.6 (4.9)	12.9

(備考) ()は前回(12月)調査比修正率。

(2) 東北

2. 需要の動向

(1) 個人消費は緩やかに増加している。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比1.1%減、2月は同1.1%増、3月は同0.2%減となった。

大型小売店販売額

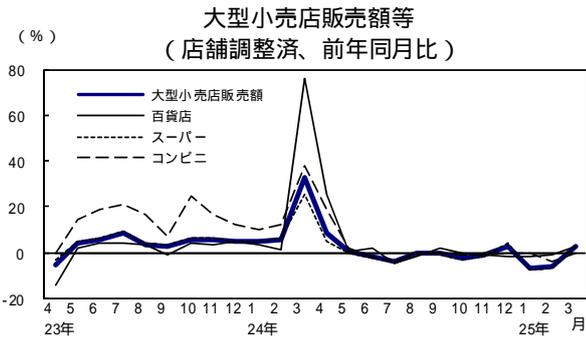
百貨店は、1月は、防寒衣料が好調だったものの、クリアランスセールに伸びがみられなかったこと等から前年を下回った。2月は、春物衣料がふるわなかったこと等から前年を下回った。3月は、春物衣料が好調だったこと等から前年を上回った。

スーパーは、主力の飲食料品で総菜や鍋物商材が好調だったものの、家庭用品で家電製品がふるわなかったこと等から前年を下回った。

景気ウォッチャー調査 (4月) [家計動向関連 (現状)]

東北地域の家計動向関連DIは、52.6となり前月より1.0ポイント低下した。

「競合店出店による来客数の減少で、売上が前年比約20%落ちている(コンビニ)」など、「悪くなっている」とする回答が増加した。

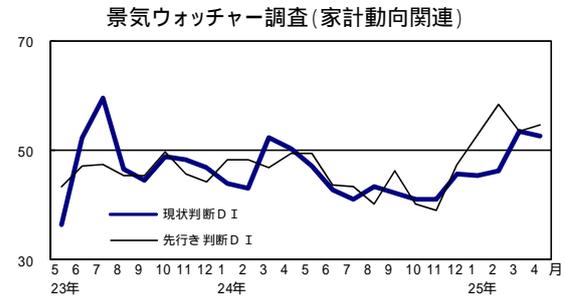
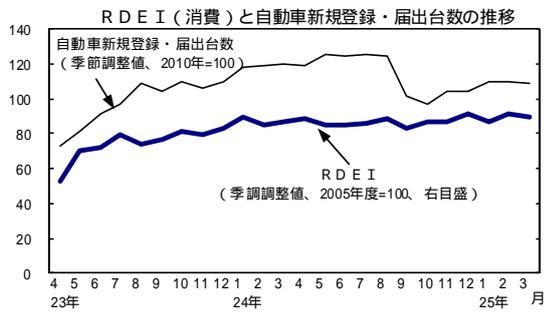


	25年1-3月	25年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	0.2	1.1	1.1	0.2
大型小売店(*2)	3.4	6.8	5.9	2.7
百貨店(*2)	0.0	1.7	1.3	2.6
スーパー(*2)	4.1	7.9	6.8	2.8
コンビニ(*2)	1.1	0.0	3.6	0.0
乗用車(*3)	8.7	8.3	8.4	9.2
(季節調整値)(*3)	7.6	5.3	0.1	1.4

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整済、前年同期(月)比 (%)

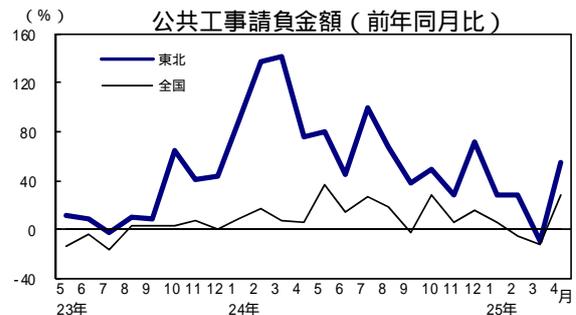
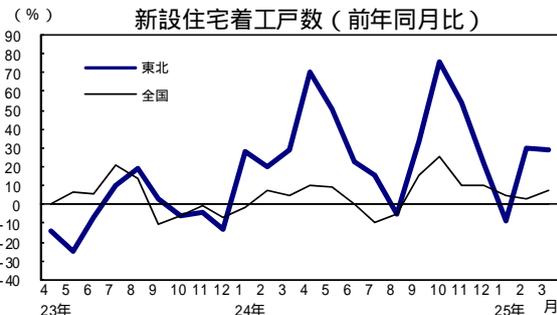
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設は大幅に増加している。

持家、貸家、分譲が前年を上回ったことから、大幅に増加している。

(3) 公共投資は24年度累計でみると前年度を上回っている。

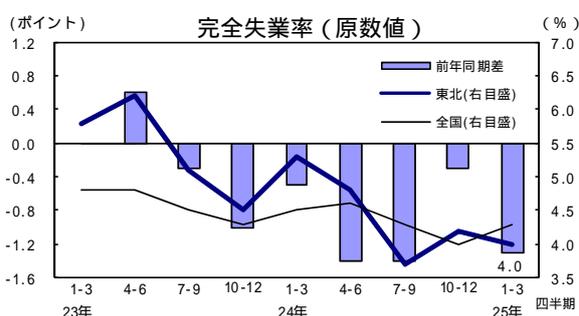
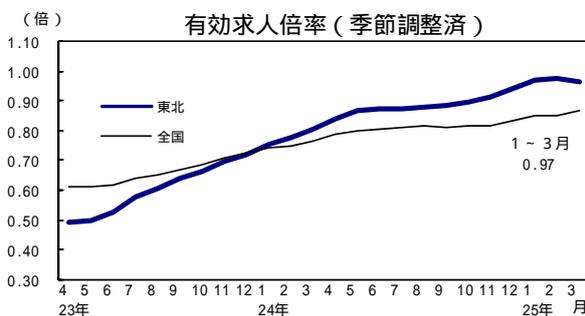


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



(備考)23年1-3月期から7-9月期の数値は補完推計値であり、23年1-3月期から7-9月期及び24年の7-9月期までの前年同期差は、補完推計値を用いて計算した参考値である。

景気ウォッチャー調査 (4月)[雇用関連 (現状)]

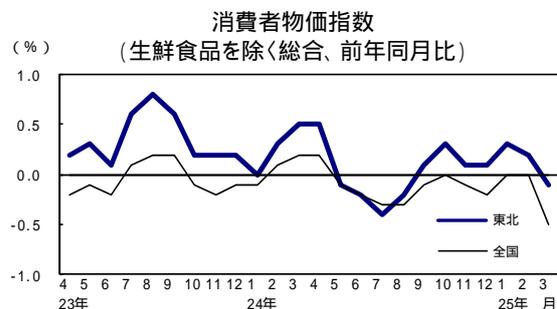
「当県に拠点を持たない企業からの問い合わせが強くなってきている。新たにコールセンターなどを開設する動きもあり、求職者の減少と逆行するような求人側の強い引き合いがある(人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数はおおむね横ばい、負債総額は減少している。

(3) 消費者物価指数はおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年4-6月	7-9月	10-12月	25年1-3月	25年4月
倒産件数	123	117	120	126	36
(前年比)	21.2	26.9	0.8	0.8	23.4
負債総額	408	582	246	266	101
(前年比)	19.5	21.4	54.7	43.1	41.1



景気ウォッチャー調査 (4月)[合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・電気料金の値上がりをにらんだ省エネタイプのアコン及び冷蔵庫の動きが活発になってきている(家電量販店)

<先行き>

・企業の採用意欲は積極的になっている。今後は雇用形態で正社員採用が増えてくれることを期待したい(新聞社[求人広告])

景気ウォッチャー調査 (合計：家計動向関連+企業動向関連+雇用関連)

